

<白金標準、新甫 12 月限の安値発会からの戻り待ち・・・>



(出所：オアシス)

PGMのパラジウム価格がプラチナ価格を下回るプレミアムの転換を示している。特にパラジウムはロシアが世界供給の4割を示し、ウクライナ戦争以降経済制裁で輸出が制限されて供給不安が存在したが、トランプ次期大統領のウクライナ戦争の終結を急ぐという政策による懸念の緩和や、工業用途、特にガソリン車の排ガス触媒の需要が8割であることから、中国の景気停滞による需要懸念なども背景となり、プラチナ価格を下回っている。

また週末にはトランプ次期大統領が自身のソーシャルメディアプラットフォーム「トウールズ・ソーシャル」に「米国の莫大な貿易赤字を埋めるために、EUは米国の石油やガスを大量に購入しなければならないとEUに伝えた。さもなければ関税を課す！」と投稿し、白金標準先物は一時4662円まで高値を試すも4637円まで下げている。

特に円安効果を受けて白金標準先物は4600円で下げ渋る値動きを続けており、25日の新甫12月限の発会で10月限の5092円の発会値から比べ400円以上の安値発会が予想され、そこからの上昇が起こるかに注目するのが良いと思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDの上昇にシグナルも上昇している。RCIは短期が切り下げても長期が上昇しており、基調は強気を維持した状況に思え、200日移動平均線(4728円)に向けた戻りに注目するのが良いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,590,000 円(2024 年 12 月 23 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 12 月 23 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>